



稲穂が深く頭を垂れ、豊潤と秋を迎えております。皆様には、ご健勝でご活躍の事と存じます。先日の大雨は、大和・大崎・栗原に被害をもたらしました。わが登米市にも川の増水により眠れない夜を過ごされた方もたくさんおられたかと思えます。登米市では人命にかかわるような被害がなく、胸をなで下ろした所です。しかし、収穫を待っていた農家の皆様には稲が水に浸かるなどの重大な被害に見舞われた方がおられました。心よりお見舞いを申し上げます。

去る9月3日に平成27年9月定例会、第353回宮城県議会が開会され、10月5日までの会期となりました。

開会日に知事より予算関係議案2件、条例議案7件、条例外議案21件の提案説明がありました。予算議案の中に、ドクターヘリ関係の補正予算も含まれており、来年度中の運行開始へ向けてのお話がありました。私自身も提案をしたひとりとして大変嬉しく感じております。

また、東北薬科大学が文部科学大臣の認可を受け、石巻と登米にサテライトセンターを置き、来年4月からの開学が正式に決定いたしました。

今定例会では一般質問の機会をいただき、主に宮城県地方創生総合戦略についてと(概要を裏面にてご報告いたします。)、円形交差点についての大綱2点で質問致しました。

季節の変わり目ですので皆様、ご自愛いただき、ご活躍をお祈り申し上げます。事務所を移転いたしましたので、お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄り下さい。

宮城県議会議員 わたなべ 忠悦

4年間の活動



長沼ダム竣工式



地域の方にリサーチ(中田町にて)

「ドクターヘリ」
 経歴を強を譲り出した村井知事は、ドクターヘリ導入を断ったのは強硬な態度で、医師不足の打開策として導入を求めた。しかし、医師不足の打開策として導入を求めた。しかし、医師不足の打開策として導入を求めた。...

パイロットの知事、否定的
 「ドクターヘリの導入が重要になる」と法政を述べた。村井知事は「ヘリは緊急時にこそ効果を発揮する。平時はパイロットの不足を補う必要はない」と述べた。...

「悪天・夜間飛べぬ」熟知自負
 東北のドクターヘリは青森、秋田、福島県が運行を開始しており、岩手、山形県も導入を検討している。...



登米総合産業高校開校式



障害者支援として立ち上げた“しいたけランド”(障害者就労継続支援A型/起業)も5周年を迎えました!



子どもたちとのふれあい(さくら学園)



登米市市制施行10周年記念式典

平成27年9月 定例会 議会総括質疑 & 回答要旨



質問

【都市機能の整備】について

安全、安心な暮らしを守るために、重要な急性期医療対策をどのように整備し、高齢者等の社会的弱者の生活圏をどう考え、確保していくのかお尋ねいたします。

地域福祉問題

【答弁】保健福祉部長

地域の中核的な病院を整備するなど、地域の特性を十分に考慮しながら、急性期医療を担う医療機関の適正な配置に努めております。

各医療圏において切れ目のない医療を提供していくことが重要です。回復期や慢性期に至るまでの過程の中で、急性期医療についても、その機能が確保されるよう今後も取り組んでまいります。

地域再生計画の策定支援や国の各種交付金等の活用、市町村振興総合補助金などにより、市町村が目指すコンパクトな拠点づくりを支援してまいります。



ふるさとを守り育んだ方々の老後に、安全・安心な生活をしていただきたい



質問

【若い世代の結婚を促進する施策】について

副知事クラスをトップとしたプロジェクトチームを作り、県庁一丸となり取り組むべきと思いますが、具体的な実施体制を含め、事業内容と予算規模はどうなっているかお答え願います。

婚活問題

【答弁】保健福祉部長

若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるためには、経済的安定や十分な子育て環境の整備、働き方改革など、幅広い取組が必要であると考えております。「少子化対策支援市町村交付金」3,400万円を措置し、現在、6つの市町がこの交付金を活用し、事業に取り組んでおります。現在、他県の先行事例等を参考にしながら、検討を進めております。



若い世代が笑顔で暮らせる地域づくり



質問

【uターン、iターン、jターン】について

過去3年間における我が県へのu、i、jターンの実績についてお伺いします。また、uターンは、最初の転出理由が分かれば、その流れを変えられるのではないかとお伺いしますがいかがですか。

地域創生1

【答弁】震災復興・企画部長

「みやぎ復興人材ネットワーク事業」により過去3年間のU、I、Jターン就職者は、平成24年度に31人、平成25年度に33人、平成26年度に30人、合計94人となっております。

雇用の場の創出や子育て環境の充実等を図り、宮城県で生まれ育った方々や、進学で我が県に来られた方々に「留まりたい」と思ってもらえるよう努力してまいります。



魅力あふれるふるさとが、人を呼び込む



質問

【宮城県地域創生総合戦略について】について

格差が広がるほど人口集中地域と人口減少地域の二極化が進んで行くのではないかと懸念しております。都市部への一極集中という課題を抱え、具体的問題点と今後の対応についてお伺いします。

地域創生2

【答弁】震災復興・企画部長

『富県戦略』を進める事によって、富を偏在させることなく地域経済を支える産業がそれぞれの地域で栄え、持続可能な社会を実現していくことが重要と考えております。地域が持つ固有の資源や多様性を最大限に生かし、その活力を高める取り組みを進め、また、企業誘致による雇用の確保や特別養護老人ホームの整備など安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

今後さらに、高速交通体系の整備やICTの活用等を通じて、県内の各地域が双方向でそれぞれの機能を高め合う、連携型の地域構造を構築してまいります。

※ ICT: 情報通信技術



一極集中の弊害をいかに緩和してゆか

平成27年6月定例会において、渡辺忠悦は「安全保障関連法案」に対し徹底審議をすることを望んでいます。

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所
所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大網 88-1
TEL：0220-23-7525 FAX：0220-23-7553
E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺忠悦 検索



近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいのでお話を聞かせて下さい。



お問い合わせ